

第3章 計画の基本的な考え方等

(1) 基本理念

かわさきの豊かな「食」で健やかな心と体を育てよう

町民一人ひとりが、望ましい「食」に関する知識を身につけ、自らが心身の健康を守って、豊かな生活を送ることを目指して、基本理念のもと、食育を推進していきます。



1歳お誕生訪問での
歯みがき指導の様子



支倉地区の子ども達の
調理体験の様子



健康推進員の研修会の様子

(2) 重点施策・食育推進の視点・行動目標

基本理念に基づいて、町民運動として効果的かつ円滑に食育を推進するために、重点施策を次の通りとします。4つの視点から5つの行動目標を掲げて取り組みます。

<重点施策>

生活習慣病の発症予防・重症化予防及び改善につながる 幼児期からの食育の推進

<4つの視点>

①健康な体をつくる食育
バランスよく、成長や適正な体格に
あった食べかたをしよう

②健やかな心をはぐくむ食育
「食」にかかわる体験をしよう

③地産地消をすすめ、
食文化を伝える食育
かわさきの食材(野菜・米など)を
健康的においしく食べよう




④みんなで支えあう食育
食育の輪をひろげよう

<5つの行動目標>

- 1 子どもの頃に望ましい生活リズムを身につけよう
- 2 望ましい食生活で健康な体をつくろう
- 3 かわさきの食材を健康的においしく食べよう
- 4 歯と口腔の健康を守り、80歳で20本の歯を維持しよう
- 5 かわさきの食育の輪をつなげよう・ひろげよう

(3) 具体的な取組の目標値

食育の推進、課題の達成に関する状況を客観的な指標により数値のデータで把握できるように、主要な項目について目標値を設定します。

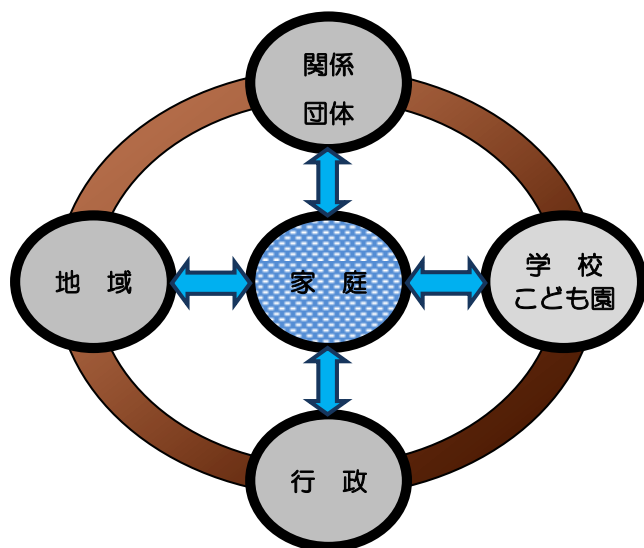
推進にあたっての指標	現状値 (平成 26 年度)	目標値 (平成 31 年度)
子どもの頃に望ましい生活リズムを身につけよう		
朝食を毎日食べる子どもの増加		
(5歳児)	95.7%	100%
(小学5年生)	86.2%	100%
(中学2年生)	91.2%	100%
望ましい食生活で健康な体をつくろう 		
かわさきの食材を健康的においしく食べよう		
メタボリックシンドローム該当者および予備軍の減少 (40～74歳)	32.5%	26.7%
適正体重の子どもの増加		
(3歳児) ※適正体重の範囲：カウプ指数 14.5～16.5	60.7%	70%
(小学生男子) } ※適正体重の範囲：肥満度－19%～＋19%	83.7%	90%
(小学生女子) }	86.0%	95%
(中学生男子) }	72.8%	80%
(中学生女子) }	82.2%	90%
栄養バランスのとれた食事を実践する人の増加 (成人)	46.3%	60%
塩分のとりかたを考えた食事を実践する人の増加 (成人)	39.6%	52%
時間や量を考えて間食をする人の増加 (成人)	18.0%	25%
栄養成分表示を確かめて食品を選ぶ人の増加		
(中学2年生)	18.8%	25%
(成人)	32.5%	45%
歯と口腔の健康を守り、80歳で20本の歯を維持しよう		
むし歯のない幼児の増加 (3歳児)	70.5%	80%
歯周病をもつ成人の減少 (40～74歳)	72.1%	60%
かわさきの食育の輪をつなげよう・ひろげよう		
連携した食育の取組の充実		
川崎町ヘルスマイトと連携した活動	9回	18回
健康推進員と連携した活動	3回	15回
小中学校と連携した体験型の取組	8回	18回

(4) 推進体制

食育の推進には、町民一人ひとりが主役となって、「食」と健康に関心を持ち、実践していくことが必要です。

川崎町では、これまでも家庭やこども園、学校、地域、行政などでそれぞれが食育に取り組んできましたが、これからは、家庭が中心となり、こども園、学校などの教育機関、地域、関係団体、行政がそれぞれの役割に基づいて活動をするとともに、手を取りあって協力しあい、「川崎らしさ」を大切に、健康づくりにつながる食育をすすめていきます。

<食育推進の輪のイメージ図>



「川崎町長期総合計画」
「健康かわさき21計画」
等の関係する各種計画とあわせて、食育を進めていきます。
必要に応じて委員会等を設けます。

<関係団体、地域、教育機関との連携の様子>



健康推進員、ヘルスマイトと連携した
碓石地区の健康教室の様子



立野地区の自主活動団体(あべっさ会)と
連携した健康教室の様子



子育て支援センターと連携した「手作りおやつ
と食のお話会」で、ひよこクラスの乳幼児が
スープを試食している様子



川崎第二小学校の行事(しなごまつり)で
学校、ヘルスマイトと協働で行った
食育活動の様子